

令和 6 年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

和庄中学校区 校番15 学校名 呉市立長迫小学校

a 学校教育目標	夢を持ち 自ら学ぶ ~つなげる・つながる~	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 確かな力と社会性を身に付け、地域を愛し、未来を創造しようとする 児童・生徒の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) 9年間を通して、夢を持ち自ら学ぶ児童・生徒を育成することにより、 児童生徒・保護者・地域から信頼される学校
----------	--------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>現状(成果○と課題●)</p> <p>○小中一貫教育の推進により、中学校区の共通経営理念に基づいた研究・教育活動が行われている。</p> <p>○「和庄中学校区授業モデル」に基づいた教科等の本質に迫る「考える授業」づくりに向け、中学校区で組織的な授業改善を進めている。</p> <p>○和庄中学校区「自主的・主体的な行動ができる児童・生徒を育てるカリキュラムマップ」を作成し、地域との連携し、防災学習において課題発見・解決学習に取り組んでいる。</p> <p>●目的や場面に応じて自分の考えを表現することが難しい。</p> <p>●自主的・主体的に行動できる児童・生徒が少ない。(「自立」) (今年度の重点)</p> <p>①育成すべき資質・能力の重点を「思考力・主体性」とし、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の推進。(問いを生かした「考える授業づくり」)・・・ICTの効果的活用・思考ツールの活用・個別最適な学び</p> <p>②防災教育の深化のために、地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践を行う。(家庭を巻き込んだ防災教育)</p> <p>③和庄中学校区スピリットに基づく児童・生徒の育成を目指し、9年間を見通した組織的な生徒指導を行う。</p> <p>④健康増進・体力の向上に向け、家庭連携による基本的な生活習慣の定着を図る。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール)(小学校)</p>
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性
-------------	---------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)					自己評価							
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
*** 確かな学力	学力の向上(貫)	主体的・対話的で深い学びにつながる思考力・判断力の育成	・考える場(タブレット端末等のICTの効果的活用、シンキングツールの活用等)の設定により、学力向上を図る。	・1人1授業を行い、授業評価票2.5(和庄中学校区目標値) ・「全国学力・学習状況調査」において全国平均値との差 ・標準学力調査全国平均を上回る児童の割合	2.5							
		自分の命は自分で守る児童の育成	・総合的な学習の時間において、他教科等と関連を図りながら、カリキュラムマップに基づく授業実践を行う。	・自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童の割合 ・「災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合	80 80							
** 豊かな心	和庄中学校区スピリットに基づく児童(生徒)の育成(貫)	粘り強くやり抜く児童の育成	・自分の担当場所を、黙って、隅々まで時間一杯掃除する。	・縦割り掃除の振り返りカード(掃除頑張り週間)	90							
		礼儀正しく感謝の心をもつ児童の育成(貫)	・時と場所を考えた挨拶ができる。(4年生以上の目礼) ・時と場に応じた言葉遣いができる。「(「はい」の返事、ふわふわ言葉、相手の名前を呼ぶ)	・挨拶週間による教職員の見取り ・学期ごとの目標に応じた教師の見取り	80 90							
* 健やかな体	健康促進・体力の向上	体力・運動能力の向上	・握力アップに向け、積極的なぞうきんしぼりをする。 ・外体育のときは50mを必ず1本走る。	・体力テストで県平均を上回る。	80 70							
		基本的な生活習慣の確立	・「元気っ子週間(早寝・早起き・朝ごはん+メディアコントロール)を実施し、望ましい生活リズムの定着を図る。(貫)	・早寝・早起き・朝ご飯が実践できた児童の割合	80							
働き方改革	教職員の主体性・積極性が発揮できる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保	・「個を大切に支援」を行う時間を確保する。(スキルタイム・NIEタイム・読書タイムの確実な実施)	・自分にはよいところがあると思っている児童の割合	80							
			・AIDリルの効果的活用 ・専門性に基づくチーム体制の構築を図る。(貫)	・日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教員の割合	90							

[k: 評価]
A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60